

Facebook リンク書類=7種

(1) 2015年9月11日、シリオ P.F662-GTX をワックス加工する前の状態

2008年7月11日に購入したシリオのオールレザー（ヌバック）トレッキングブーツ（P.F.662-GTX）ですが、7年経過してソールもかなり擦り減ってきました。そこで7月17日に好日山荘にソールの張り替えを依頼。8月11日に新品のソールになって戻ってきました。交換代金は12,000円プラス消費税。

これまでヌバックレザーには防水スプレー（又は栄養剤入り防水スプレー）しかしてきませんでした。そこでワックス加工処理をすることにしました。

加工前のヌバックレザーの状態をスマホでフラッシュ撮影した3枚です。ヌバックレザーがカサカサの感じが分かるでしょうか？



(2) 2015年9月15日、ヌバックレザー靴、ワックス加工仕上げ用メンテナンスグッズ
ヌバックレザー登山靴（シリオ P.F.662-GTX）のワックス加工に必要なメンテナンスグッズを購入しました。

ブラシやワックス類は、ヌバックレザー登山靴（オールレザー）だけでなく、ヌバックとナイロン生地のコンビネーション登山靴にも使用ができます。

初期投資に7千円くらいかかりますが、少なくとも5回以上のメンテナンス（最初の3回加工以降の再加工は1回で済むので）に使えらと思います。

また一番塗布が多い「アウトドア・アクティブ・レザー・ワックス」のみ補充もできます。



(3) 201年9月16日ヌバックレザーのワックス加工、1回目

シリオのヌバックレザー登山靴の第1回目のレザーワックス加工をしました。

まず皮革全体をスポンジでたっぷり濡らします。

濡れた状態で「レザー・ジェル」（水や汚れから保護する、ポンプ式防水ジェル）を2プッシュ手のひらにとりざっくり全体に付けてから、水で濡らしたみがきブラシで素早く沁み込ませます。

「レザー・ジェル」＝表面をコーティングし、防水効果が長期間持続します。（防水 100% 栄養 0%） ・革、布の両方に使用可能＝

次に「ヌバック・ローション」（クリアタイプ）を全体的に塗ります。

ヌバック・ローション＝長年の使用で色あせたヌバックやスウェード革の風合いを復元。紫外線の影響などで色落ちしたヌバック革の色彩に深みを与えます。革の耐久性を高め、キズや摩擦、紫外線から守ります＝

次に「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」を人差し指に 3cm くらいとり、皮革の下回りをグルリ塗りベロにも塗ります。

「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」（防水 50% 保革 50%）＝使いこんで革表面がカサついて栄養分が不足した革に、高い栄養分と防水効果を与え、革靴を水や雪の浸入による傷みから守ります＝

ブラシで全体的に塗り伸ばしたら、皮革を手のひらや指で擦りながら摩擦熱で根気よく広げます。

ブラシに残っているワックスをまんべんなく塗りますが、皮革の乾燥を避けるためブラシ

に少し水をつけて、更に擦ります。ここまでが第1回のワックス加工です。



(4) 2015年9月21日ヌバックレザーのワックス加工、2回目

第1回目のレザーワックス加工（9月16日）から5日経過。登山靴を風通しの良い室内で自然乾燥させました。

9月21日、シリオのヌバックレザー登山靴の第2回目のレザーワックス加工をしました。

第1回目の工程のうち「レザージェル」を除いた作業になります。

「ヌバック・ローション」（クリアタイプ）を全体的に塗ります。

次に「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」を人差し指に3cmくらいとり、皮革の下回りをグルリ塗りベロにも塗ります。

ブラシで全体的に塗り伸ばしたら、皮革を手のひらや指で擦りながら摩擦熱で根気よく広げます。

ブラシに残っているワックスをまんべんなく塗りますが、皮革の乾燥を避けるためブラシに少し水をつけて、更に擦ります。

ここまでが第2回のワックス加工です。

第3回目のワックス加工（9月25日）まで自然乾燥させます。



(5) 2015年9月25日ヌバックレザーのワックス加工、3回目完了

第2回目のレザーワックス加工（9月21日）から4日経過。登山靴を風通しの良い室内で自然乾燥させました。

9月25日、シリオのヌバックレザー登山靴の第3回目（最終）のレザーワックス加工をしました。

第1回目の工程のうち「レザージェル」を除いた作業になります。

「ヌバック・ローション」（クリアタイプ）を全体的に塗ります。

次に「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」を人差し指に3cmくらいとり、皮革の下回りをグルリ塗りベロにも塗ります。

ブラシで全体的に塗り伸ばしたら、皮革を手のひらや指で擦りながら摩擦熱で根気よく広げます。

ブラシに残っているワックスをまんべんなく塗りますが、皮革の乾燥を避けるためブラシに少し水をつけて、更に擦ります。

かなりテカリが出てきました。

ここで最終行程です。

「ナノクリーム」（防水80% 保革20%）を塗ります。

＝従来より小さなナノレベルの分子成分が、革に深く浸透しつつ表面をコーティング。従来のワックス類よりも効果の持続性を保ち、高い防水と保革を両立します＝

「ナノクリーム」を3cmくらい指にとり、皮革にまんべんなく塗りこみます。

最後にブラシで丁寧に磨き上げます。

レザーワックス3回加工処理した後の登山靴の画像4枚をご覧ください。

最初の1枚はノーフラッシュ、残りの3枚はフラッシュ撮影（iPhone 6 Plus）です。
色合いがかなり濃くなり、ピカピカのオイルレザー登山靴となりました。
これで1週間ほど自然乾燥して完成です。

以上、ヌバックレザーのワックス加工処理の作業工程は、バックカントリー穂高さんの
YouTube 動画を参考にさせていただきました。

（登山靴 手入れ 講習中 LOWA TAHOE PRO ヌバック レザー WAX 仕上げ 3 回塗り加工）
<https://youtu.be/y1CqATRMBis?list=LLm3g76jPo2CIm3dyK807i0A>

（汚れを落とす）<http://www.backcountry.co.jp/info/oteire.html>

（防水ジェルで保護）<http://www.backcountry.co.jp/info/oteire2.html>

（ローションで色彩復元）<http://www.backcountry.co.jp/info/oteire3.html>

（コロニル秘伝のワックスを塗る）新オイルは「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」
を使用 <http://www.backcountry.co.jp/info/oteire4.html>

（みがく）<http://www.backcountry.co.jp/info/oteire5.html>

「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」の後、仕上げとして「ナノクリーム」を塗り
こみブラシで磨いて完了です。

10月4～5日「金峰山」山行で、リニューアルデビューが今から楽しみです。



(6) 2015年10月2日シリオのワックス仕上げ3回塗り加工、完了

2008年7月11日に購入したシリオのオールレザー（ヌバック）トレッキングブーツ

（P.F.662-GTX）は7年経過。ソールもかなり擦り減ってたので、8月11日に張り替えを
しましたが、ヌバックレザーは登山靴用の撥水スプレー（又は保革成分入り撥水スプレー）
だけでしたので、皮革はカサカサの状態でした。

そこでレザージェル、ヌバックローション、アウトドア・アクティブ・レザーワックス、
ナノクリームの4種（全てコロニル社製）を施し、3回塗り加工を完了しました。

画像のように、ヌバックレザーはピカピカになりました！

10月4～5日の金峰山山行が楽しみです。



(7) 2015年10月8日山行後の汚れたシリオをワックス加工処理

10月4～5日の月例山行「金峰山」から帰宅の翌6日、履いて汚れたシリオのオールレザー（ヌバック）トレッキングブーツ（P.F.662-GTX）を再びワックス加工処理しました。

(1) レザー部分の汚れをたっぷり水を含んだスポンジで洗います。ソール部分の汚れはタワシで洗います。

(2) 濡れた状態で「レザー・ジェル」（水や汚れから保護する、ポンプ式防水ジェル）を2プッシュ手のひらにとりざっくり全体に付けてから、ブラシで沁み込ませます。

「レザージェル」＝表面をコーティングし、防水効果が長期間持続します。（防水 100% 栄養 0%） ・革、布の両方に使用可能＝

(3) 次に「ヌバック・ローション」（クリアタイプ）を全体的に塗ります。
ヌバック・ローション＝長年の使用で色あせたヌバックやスウェード革の風合いを復元。紫外線の影響などで色落ちしたヌバック革の色彩に深みを与えます。革の耐久性を高め、キズや摩擦、紫外線から守ります＝

(4) 次に「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」を人差し指に3cmくらいとり、皮革の下回りをグルリ塗りベロにも塗ります。

「アウトドア・アクティブレザー・ワックス」（防水 50% 保革 50%）＝使いこんで革表面がカサついて栄養分が不足した革に、高い栄養分と防水効果を与え、革靴を水や雪の浸入による傷みから守ります＝

みがきブラシで全体的に塗り伸ばしたら、皮革を手のひらや指で擦りながら摩擦熱で根気よく広げます。

ブラシに残っているワックスをまんべんなく塗りますが、皮革の乾燥を避けるためブラシに少し水をつけて、更に擦ります。

(5) 仕上げに「ナノ・クリーム」（防水 80% 保革 20%）を塗ります。
＝従来より小さなナノレベルの分子成分が、革に深く浸透しつつ表面をコーティング。従来のワックス類よりも効果の持続性を保ち、高い防水と保革を両立します＝

「ナノ・クリーム」を3cmくらい指にとり、皮革にまんべんなく塗りこみます。最後にブラシで丁寧に磨き上げます。

ここまでの作業工程です。

10月7～8日の午前中までは縁側の日の射さない場所で自然乾燥させました。

8日の午後、みがきブラシでしっかり磨き、婦人用ストッキングでよく拭き取り、再びブラシに少し水をつけて、更に磨きます。

最初の2枚の画像は、山行から帰宅した直後の汚れた状態の登山靴です。

後の4枚はワックス加工処理をした後の登山靴です。

光沢があり、とても綺麗になりました。

